

2022 WTCS 横浜大会

オペレーションマニュアル 【エリート CP13-15】

【TO用】

第 1.1 版

作成者	清水 英一
作成日	2022年4月25日
修正版	2022年5月3日
最終更新日	2021年 月 日

目次

2022WTCS 浜大会オペレーションマニュアル 1
 目次・スケジュール&各種目ラップ数 2
 体制 3
 1. T0 メンバー一覧表 エラー! ブックマークが定義されていません。
 会場・コースの確認 4
 1. コース設営・スタッフ配置図 (CP13) 5
 2. コース設営・スタッフ配置図 (CP15) 6
 業務詳細・留意事項 10
 1. 共通事項 10
 2. 業務別詳細および留意点 12
 3. 備品 13

5月14日(土) スケジュール & 各種目ラップ数

スケジュール		選手競技時間	
		先頭	最後尾
◎交通規制開始		6:30	
コース設営		6:30~6:50	
パラトライアスロン PTVI PTS2~5 PTWC	スイムスタート	6:50	
	スイムフィニッシュ	7:00	7:53
	バイクスタート	7:01	7:54
	バイクフィニッシュ	7:30	8:32
	ランスタート	7:31	8:33
	フィニッシュ	7:51	8:53
エリート女子	試走	9:35~9:55	
	スイムスタート	10:16	
	スイム1周	10:24	10:25
	スイムフィニッシュ	10:33	10:36
	バイクスタート	10:34	10:37
	バイクフィニッシュ	11:35	11:40
	ランスタート	11:36	11:41
フィニッシュ	12:10	12:25	
エリート男子	試走	12:25~12:45	
	スイムスタート	13:06	
	スイム1周	13:13	13:15
	スイムフィニッシュ	13:21	13:25
	バイクスタート	13:22	13:26
	バイクフィニッシュ	14:19	14:29
	ランスタート	14:20	14:30
	フィニッシュ	14:50	15:06
コース撤収		15:06~15:20	
◎交通規制解除		15:20	

SWIM	0.75km(0.75km×1Lap)
BIKE	20.0km(5km×4Laps)
RUN PTWC	5.0km(5km×1Lap)
RUN PTS2-VI	5.0km(1.66km×3Laps)

SWIM	1.5km(0.75km×2Laps)
BIKE	40.0km(4.45km×9Laps)
RUN	10.0km(2.5km×4Laps)

SWIM	1.5km(0.75km×2Laps)
BIKE	40.0km(4.45km×9Laps)
RUN	10.0km(2.5km×4Laps)

体制

T0 メンバー一覧表

名前	ポジション	担当・役割	備考
清水英一／C	CP13-15	CP13-15 全体統括	090-9313-0595
岡部哲夫	CP13-①	CP13 横断路誘導	
安田博治	CP13-②	CP13 横断路誘導	
綱島浩一	CP13-③	CP13 横断路誘導	
前田隆司	CP13-④	CP13 横断路誘導	
小原博史／SC	CP13-⑤	CP13 手旗担当	CP13 エリア担当監視
佐藤美佳子	CP13-⑥	CP13 手旗担当	
青柳雅一／SC	CP15-①	CP15 手旗担当／折返し地点設営	CP15 エリア担当監視
酒井光雄	CP15-②	CP15 手旗担当	

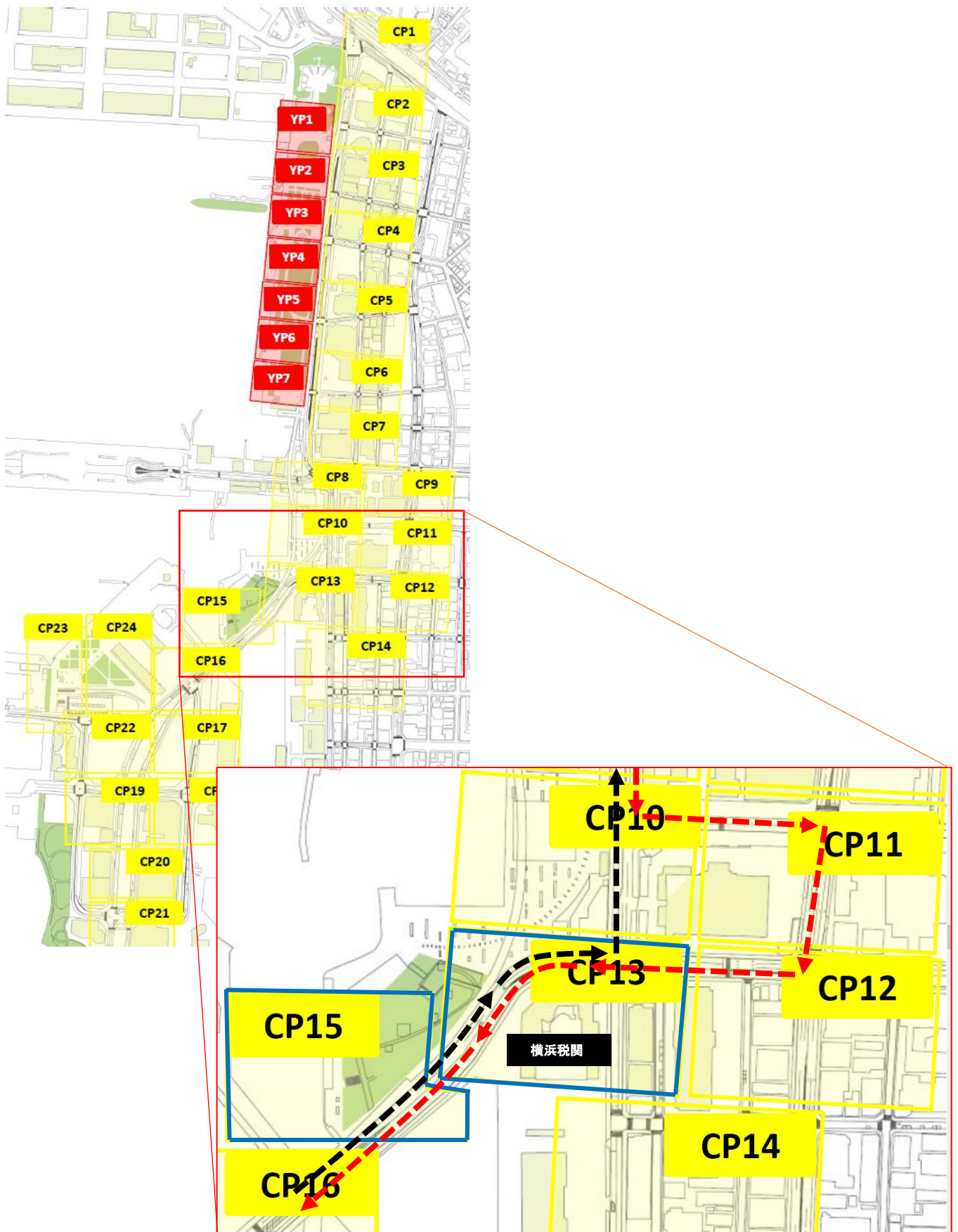
CP14 はバイク・ランコースの外側で、車両進入のコントロールのみのため、T0の配置はありません（警備員の配置のみです）。

後ページの写真を参考にしてポジションのイメージをつかんでください。

上記の通りポジションを決めましたが変更することもありますので、予めご了承ください。臨機応変に現場力を生かした対応をお願いいたします。また今後のことも考え、いろいろなポジションを経験していただきたく「女子」と「男子」で支障をきたさない程度のポジション変更を考えています。

コロナ禍においてはT0やボランティアに欠員が生じる場合もあり、当日になって違うポジションをお願いする場合があります。T0業務全体（CP13-15）を把握しておいていただけると大変助かります。

会場・コースの確認 (CP13-15)



1. コース設営・スタッフ配置図 (CP13)

T0 は青のカラーコーン (競技用) を使って設営してください



税関駐車場から
車両出庫有り

横浜税関

CP13-⑥: CP12(往路)
からの手旗

【税関車両の出庫について (JEB対応)】
9時~10時16分頃 (バラ終了から女子開始の間)
12時25分~13時14分頃 (女子終了から男子開始の間)
※最大で12台 (変動あり)

CP13-⑤: CP15(復路)からの手旗

CP13-①②:
横断路誘導

ホイール
ステーション

CP13-③④:
横断路誘導

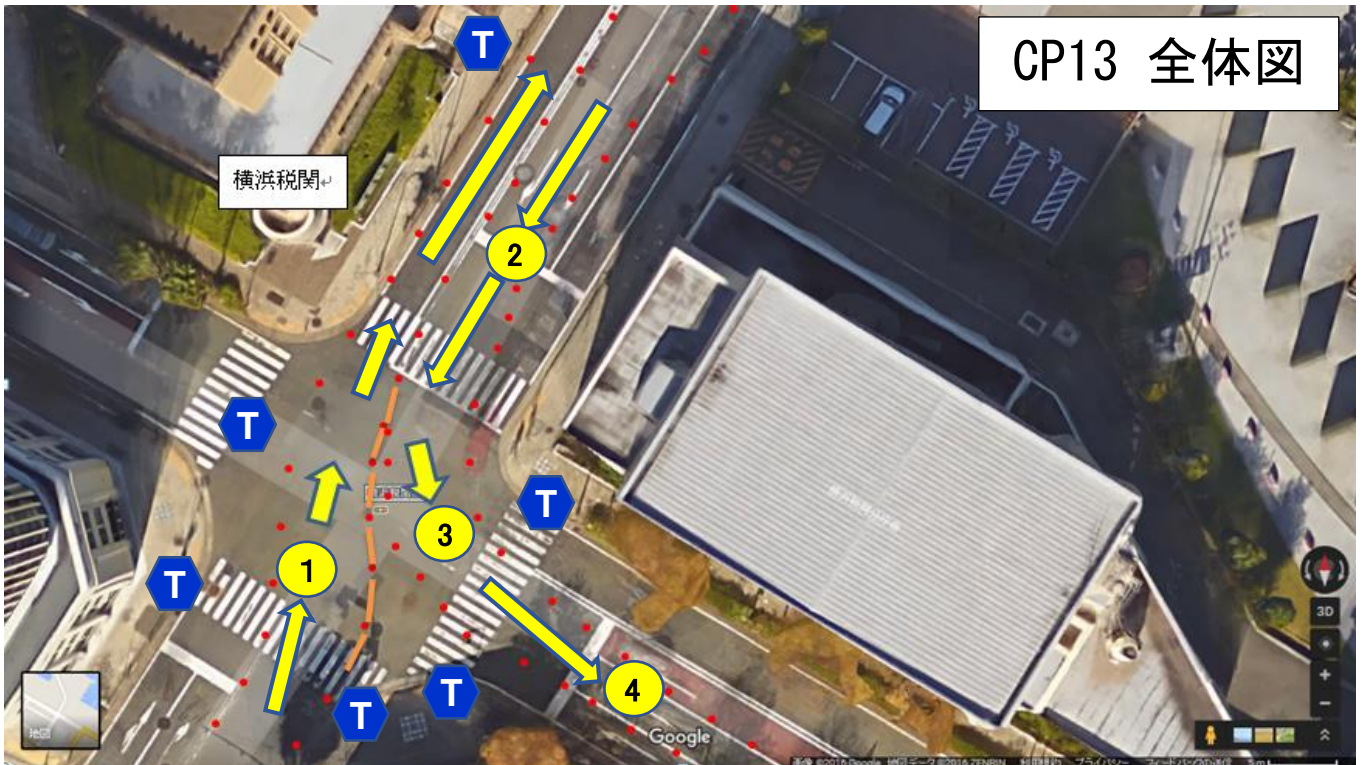
エイド
ステーション

バイクコース	交通警備	規制用カラーコーン
ランコース	雑踏警備	競技用カラーコーン
T0	鉄 柵	車両導線
整理員	プラ 柵	横断路
スポーツ推進委員		ローピング
		備品置場

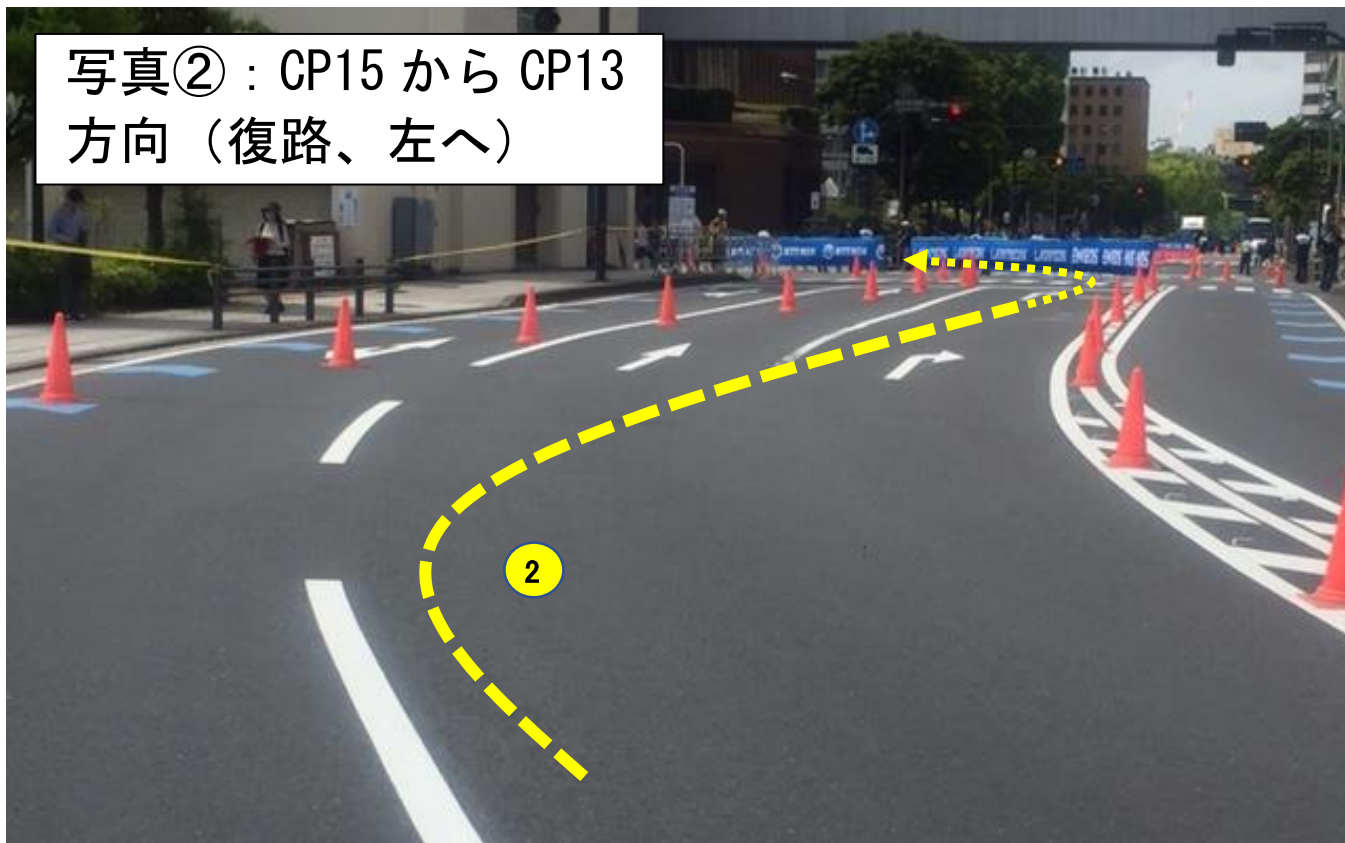
2. コース設営・スタッフ配置図 (CP15)

T0は青のカラーコーン(競技用)を使って設営してください





写真②：CP15 から CP13
方向（復路、左へ）



写真③：CP13 復路の左折
場所、正面は横浜税関）

写真④：左折後、
CP13 から CP10 方向



CP15 ラン折返し地点



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

<コロナ禍における注意>

『感染しない・させない』ための行動を厳守してください。

大会に関わる全ての関係者が2週間の健康チェックを行い「健康が保たれていること」を前提とします。

マスクは常に着用し、大声での会話は避けてください。

大会に関わる全ての人は、各自で感染症対策（マイボトル、タオル、マスク、使い捨て手袋など）を講じ手指のこまめな消毒と洗浄を行ってください。

握手、ハイタッチ、ハグなど、人と人との接触を避けてください。

個人同士での各器具や装具、備品の共有は行わないでください。

各自 2022WTCS 横浜大会資料サイトの「コロナ対策マニュアル」を参照してください。

<コース設営・競技中の業務／リタイア>

会場設営図に従って担当審判・設備担当スタッフにて設営を行います。必要に応じて、設備担当スタッフに依頼（指示）をしてください。競技中のトラブルへの迅速な連携対応を行うためにも関係者（警察官・横断路警備員・整理員・設備・救護・メディア等）および前後のエリア T0 とコミュニケーションを図ってください。

競技開始前にコース路面状況の確認をお願いします。竹ぼうき等でヘアピン・イヤリング・クギその他パンクやスリップの原因となる落下物やごみの清掃、また危険と思われる箇所についてはコーン/テープ等で修正をお願いします。

接触・落車等による負傷者が発生した場合は、選手の競技継続の如何を問わず無線装着 T0 を通じ本部への情報連絡を行います。

担当エリアでリタイアが発生した場合は、無線装着 T0 から本部へ無線でレースナンバー、当該選手の状況を報告します。アンクルバンドを回収の上、選手は歩道（コース外）から〇〇〇まで選手自身で戻ります。

自身で歩けない状態の場合は、無線装着 T0 から本部へ車いすの手配を依頼します。アンクルバンドは（原則として）エリアチーフが本部まで届けます。

各カテゴリー間の競技が行われていない時間帯は、横断路を開放します。

交通規制中（6：30～15：20）は、競技が行われていない時間であっても、許可された者以外はコース（車道）を通行させないようにします。（道路安全管理責任が、警察から大会に移管されています）

<競技終了時>

各競技終了時のオペレーションは「フラッグ・ウォーニング・システム」を採用しており、

最後尾の選手が通過した以降、バイクの後ろに乗った NT0 が「緑色の旗」を持って競技終了の合図を行います。

■パラエリートおよびエリート女子の各競技終了後、T0 は休憩を取ってください。

■エリート男子の競技終業後は速やかに青色コーン(競技用)から撤去作業を進めてください。

その後は翌日の T0 ミーティングに向け各ポジションごとの会場へ移動します。

<監視業務>

競技中は観客やコーチ、通行人がコース内に入らないように注意します。

選手接近を旗で受け、次ポジションへ伝える T0 (CP13-⑤, ⑥/CP15①, ②) は、競技中の観客状況も想定した「白旗 or 黄旗」の視認性の確認や、立ち位置等の調整・確認を行います。(前後の CP の T0 とも調整・確認を実施してください。)

選手の接近を確認後、後続の監視担当へ適切なタイミングで白旗を挙げ、一団全体 (パック) が通過した後降旗します。

前方で落車等のアクシデントが発生した場合は、赤旗を左右に振り選手への注意喚起を行います。

<横断路担当>

担当の整理員に横断方法(右側通行・左側通行にするかなど場所の特性を勘案する)を伝え、具体的な役割、手順の確認を行います。

整理員には大きな声を出さないで選手の誘導や観客のコントロールをするように伝えてください。また、緊急時にコースに飛びだして自らが事故に巻き込まれるようなことがないように伝えておきます。

旗による選手接近連絡に応じて、早めに横断路を適切に閉じ、歩行者の安全を確保すると共に、選手が安全に通過できるようにします。

状況に応じ臨機応変な対応を心がけてください。

車いす、ベビーカー、自転車、台車の横断には、特に注意を払いましょう。

2. 業務別詳細および留意点

■各CP別TOとボランティアの配置は、「スタッフ配置図」をベースに経験者が中心となって決めてください。TOはボランティアと協力して競技に支障の出ないように責任を持って、選手、観客、ボランティア、メディア関係者等、そして自らの安全を最優先にしてコースの維持管理をお願いします。

ポイント名	オペレーション内容・ポイント
CP13	<ul style="list-style-type: none"> ■交通規制開始後、すみやかに 2022WTCS 横浜・エリート警備計画に基づきコース設営を行います。 ■カーブの設定、歩行者横断位置は、例年と同様です(添付写真を参考にしてください)。 ■横断路は、レースコースと歩道の上に緩衝エリアを設けます(渡りきれない人がコースにあふれて残るのを防ぎます)。 ■ホイールステーションの設置があるので、担当NT0と連携してください。
CP15	<ul style="list-style-type: none"> ■交通規制開始後、すみやかに 2022WTCS 横浜・エリート警備計画に基づきコース設営を行います。 ■エリートバイク終了後、エリートランへのコース切替え(折返し大型コーンの設定)を行います。設置の最終確認はNT0が行いますので、ランC北野氏、SC鷲塚氏と確認をお願いします。 ■ランの選手が折り返した先のバイクコースとの合流点で、残っているバイクがあればラップ(DNF)対応します(ファーストランナー/ライトバイカーカット)。その位置は、技術代表のNT0が決めます。 ■NHKカメラの撮影位置確保に協力します。(安全面に配慮してアドバイス) ■歩道の柵がない部分の観客のはみ出しを防止します。(コーン、テープ、TO配置)
CP13, 15 共通	<ul style="list-style-type: none"> ■観客のコース内立ち入り禁止を徹底してください。特に往路は選手が観客のすぐ近くを通過するので、応援の手旗、望遠レンズ、自撮り棒など、歩道からはみ出さないよう注意してください。 ■安全を損なわない範囲でメディア活動への協力・配慮をしてください。 ■カメラへの無用の映りこみ、スポンサー表示の邪魔等を避けるよう、立ち位置を考えて業務にあたってください。特にNHKカメラへの映り込みを最小限にするよう注意してください。

■チーフは先頭・最後尾選手の都度通過情報をチェックし、本部へ報告します。

3. 備品

- 白（黄）旗、赤旗 各7本
- 立入禁止テープ 4巻(400m分)
- 白ガムテープ 4本（カーブで選手のコーン間すり抜けを防止するための点線表示用、等）
- 竹ぼうき 2本 ゴミ袋4袋
- 「横断路」のプラカード4本
- メガホン4個
- 踏み台（旗手担当者用）